



九州財務局では、本局の所在する地元熊本県を代表する企業経営者や有識者とともに、地域経済の活性化に向けた議題について、専門家の講話等をもとに自由闊達に情報・意見交換を行う場として、「くまもと活性化フォーラム」を定期的を開催しています。今回その第4回を下記のとおり開催いたしました。



記

1. 日時・場所 2019年2月20日(水) 15:00~17:15 於:KKRホテル熊本
2. フォーラムメンバー・参加者 23名(企業経営者9名、有識者10名、当局4名)
3. テーマ「中小企業事業支援の現状と課題」

①挨拶・問題提起 九州財務局長 川瀬 透

中小企業・事業者を取り巻く環境は厳しさを増し、コンサルティング型の事業支援の必要性は格段に高まっており、金融機関を含む支援者の一層の連携が重要。



川瀬 九州財務局長



吉永 熊本県
商工観光労働部
商工労働局長

②基調講演

「中小企業・事業者支援の現状について」

・熊本県 商工観光労働部 商工労働局長 吉永 明彦 氏



鹿子木 熊本県
よろず支援拠点
チーフコーディネーター

「熊本県における中小企業支援の実例」

・熊本県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 鹿子木 康 氏

「アマビズの事業内容・実績・事例紹介」

・アマビズ(天草市起業創業・中小企業支援センター)センター長 内山 隆 氏



内山 アマビズ
センター長

③意見交換

【総括】

- ・経営の基本は記帳・財務書類の作成。自らの経営状況を自他ともに把握する。
- ・製品サービスを高く売る。高く売するための作り込み・付加価値を増加させる。製品サービスに込めた工夫や特質をより良く発信する(見せ方・伝え方が大事)。
- ・つなぐ力を向上させる。金融機関、支援機関が連携することで、それぞれの持つ情報が高い次元で活かせるようになる(販路の拡大等)。

